【開催報告】地域医療連携推進法人　信州松本ヘルスケアネットワーク共同研修事業
「第 2 回車椅子移乗 研修」を開催しました。



【研修概要】
日　　時 ： 2026 年 9 月 29 日（火）　①14:00～15:30　②15:30～17:00
会　　場 ： 相澤シミュレーションセンター メインルーム
講　　師 ： 相澤病院 救急リハ科 主任
参加人数 ： 7 名 （3 法人）
内　　容 ： 【座学】【ベッドからの起き上がり】【車椅子操作】【ベッドから車椅子への移乗】
【車椅子から自家用車への移乗】等

【研修内容】
医療や介護の現場では、ベッドや椅子、トイレ、車への乗り降りなど、様々な車椅子への移乗介助が行われています。しかし、不用意な方法で介助を続けると、患者さんの転倒リスクなどが高まるだけでなく、介助者自身の腰痛などの原因にもなってしまいます。そこで前回に引き続き「患者さんを安全に、そして自分自身の身体も守る介助手技」を身につけるための実技研修を行いました。
まずは、移乗前のバイタル・顔色確認、ベッドの高さ調整など、基本動作および安全を再確認しました。続けて寝返りから座位保持、そして車椅子への移乗の一連の流れを介助者・患者の両役で体験することで、言葉だけでは伝わらない「安心感」と「恐怖感」を体験しました。

第 2 回となる今回の研修では、じっくり深く学べるよう 1 枠あたり 5 名までの少人数制で実施し、ベッドからの移乗方法だけでなく、車椅子から車への安全な移乗方法についても実践しました。

参加者の皆さんは、所属する法人や職種の垣根を越えて、楽しく、そして非常に熱心に受講されていました。受講者からは「少人数だったので、講師の先生に細かいコツまで直接質問できて良かった」と大好評でした。また、「介護現場での悩みがすっきり解決した」と嬉しそうにお話しされている方の姿も見られました。

また、「頭では理解できても、実際に自分の身体を動かすのは難しいけれど、すごく有意義で楽しく学べました。もっと介護の技術を磨きたいです」「実際の業務で自信を持って実践できるようになるまで、繰り返し練習を重ねていきます」といった前向きな感想や、今後はベッド上での介助方法やおむつ交換のコツも学びたいというリクエストも頂きました。

この研修で身につけた技術を各現場で活かしていただくことはもちろん、今回生まれた「顔の見える繋がり」を大切に、今後も有意義な共同研修を企画して参ります。



◆座学◆



◆ベッドからの移乗◆



◆車椅子のポジショニング◆



◆車への移乗◆

地域医療連携推進法人　信州松本ヘルスケアネットワーク
事務局